

蜂谷戸防災かわら版

第11号

自分の命は自分で守ろう！

「近助」と「自守防災」！

平成26年11月1日

小川自治会

蜂谷戸支隊

情報・広報班

今回は、特集として、9月、10月に行われた3つの防災訓練の様子を写真入りで報告します。
多くの方々に参加いただき、大変有意義な訓練となりました。参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

[特集：防災訓練]

<蜂谷戸支隊・スタンドパイプ放水訓練> 9月21日(日) 14時~16時

町田消防署のご指導の下、スタンドパイプの放水訓練を実施しました。蜂谷戸支隊では初めてです。
訓練参加者25名、見学者15名、合計40名の方に参加いただきました。マンホールの開閉、ホースの接続、消火栓の操作、実際の放水等を25名全員が体験しました。女性も8人の方が訓練に参加いただきましたが、全員各操作を実際に体験、女性でも充分操作できることが確認できました。(マンホールの蓋がチョッと重かったですが・・・)



スタンドパイプとは、道路上の消火栓につなぎ、簡単に操作できる、軽量の消火装置です。



ホースの接続訓練



放水訓練。かなりの水圧です



<蜂谷戸支隊・旗出し、救護・避難訓練> 10月4日(土) 10時~11時

- ① 旗出し訓練は、昨年につき2度目の実施でしたが、87%の家庭で”無事です”の旗を掲示いただきました。
- ② 救護・避難訓練は初めての実施で、負傷者を担架やリヤカー、車椅子で救出する訓練を行いました。
訓練には、30名の隊員が参加しました。



<小川自治会の総合防災訓練> 10月4日(土) 13時~15時30分

例年の起震車体験、AED操作、家庭用消火器操作に加え、今回は初めて、煙体験やスタンドパイプ放水、防災用品展示も実施されました。蜂谷戸支隊からは50名が参加し、それぞれのコーナーを順番に体験しました。

